

日本劇作家協会 2022年度(令和4年度) 事業報告

1. 会員(2023年3月31日)

正会員:596名	入会:32名	復帰:2名
	退会:13名	除籍:3名
	逝去:4名	

賛助会員	団体:10団体
	個人:9名

2. 会合

①理事会	2回:5月19日、2月26日
②評議員総会	2回:5月31日(定時)、2月26日(特別)
③会員総会	1回:5月29日
④運営委員会	2回:5月19日、11月11日

3. 育成、コンクール、セミナー

- ①第28回劇作家協会新人戯曲賞(後援:公益財団法人一ツ橋綜合財団)
6月～応募作受付と一次審査二次審査
10月25日に最終審査会を実施
- ②戯曲セミナー
9月～3月、完全オンラインで開催
- ③研修課(文化庁委託事業)
5月～3月、担当講師:坂手洋二、佃典彦、松田正隆
- ④公開講座(文化庁委託事業)
8月7日に開催(於 座・高円寺)
「戯曲から始まるアクセシビリティ」

4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①月いちリーディング
1)東京・全国:6月、7月、9月、11月、1月、2月(すべてオンライン開催)
・11月は中国支部と、1月は沖縄支部と共同運営
2)大阪:6月、8月(いずれもオンライン開催)、1月(於 common café)
3)九州:9月(於 アトリエ PentA(長崎市))、2月(於 free space「cosmorium」(鹿児島市))
4)東北:11月(於 盛岡劇場ミニホール(盛岡市))
- ②11月26日、関西版月いちリーディングスペシャル企画「劇作バトル!」(於 ドーンセンター)
- ③12月「リーディングフェスタ2022 戯曲に乾杯」
「公募戯曲短編リーディング」
「新人戯曲賞佳作リーディング」
(於 座・高円寺 ※無観客開催して収録・配信)
- ④長編戯曲の改稿講座
9月、10月、11月にオンラインで講座を開催
2月に受講生提出作品のドラマリーディングを収録・配信
(収録会場は人間座スタジオ(京都市))
※以上、いずれも文化庁委託事業

5. 出版・広報

- ①第28回劇作家協会新人戯曲賞最終候補作掲載「優秀新人戯曲集2023」、12月に刊行
- ②戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
- ③戯曲英訳出版(文化庁委託事業):3月に「ENGKEI:Japanese Theatre in the New Millennium 8」刊行
- ④会報(『ト書き』)の発行 1回:69号(3月)
- ⑤Webインタビュー「劇作家協会のナカミ」5タイトルを公開
- ⑥会員メールマガジン、SNS、Web サイト更新などの継続

6. 調査、資料収集、アーカイブ

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力
- ②戯曲デジタルアーカイブの公開継続、上演問合せなどへの対応
- ③「劇作家権利処理 DX 化プロジェクト」(EPAD 委託事業):調査報告書の公開、戯曲デジタルアーカイブの改修を実施

7. 協力、パートナーシップ、後援

- ①座・高円寺の「2022年度日本劇作家協会プログラム」11企画が上演(4月～3月)
- ②座・高円寺の「2024年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
- ③座・高円寺劇場創造アカデミーに名義協力
- ④一般社団法人日本舞台美術家協会の「第15回プラハカトリエンナーレ展 出展事業」に名義後援
- ⑤白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第8回ハイスクール劇王 高校生短編演劇競技大会」に名義後援
- ⑥公益社団法人国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇14」に名義協力
- ⑦吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2023」に名義後援

8. 国際交流
①日韓演劇交流センター、英訳・仏訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応
9. 著作権、契約
①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせや個別事案への対応を継続
10. 声明・アピール・陳情
①5月13日、「演劇の創造現場からあらゆるハラスメントや性加害をなくしていくために私たちは発言し行動します」を発表
※日本劇作家協会有志として
11. 支部、地域交流事業
①北海道支部；
1) 希望の大地の戯曲「北海道戯曲賞」に協力
2) 教文演劇フェスティバル 短編演劇祭に協力
3) 戯曲講座を開催
②東北支部；
1) 上記4. で記載の盛岡市での「月いちリーディング」を運営
③東海支部；
1) 第7回俳優A賞を主催
2) 不思議の国のアリス[ALICE Win Underground.]に協力
3) 「ナビイチリーディング」を共同主催
④関西支部；
上記4. で記載の「月いちリーディング」「劇作バトル！」「長編戯曲の改稿講座」を運営
⑤中国支部；
1) 第8回中国ブロック劇王決定戦を主催
2) 上記4. で記載の「月いちリーディング」を共同運営
3) 機関誌「イトデンワ」を発行
⑥九州支部；
1) 上記4. で記載の長崎市と鹿児島市での「月いちリーディング」を運営
⑦沖縄支部；
1) 劇琉王 Vol.5 を主催
2) 上記4. で記載の「月いちリーディング」を共同運営
12. コロナ対策関連
①コロナ対策室の継続
②演劇緊急支援プロジェクトへの参加継続
③緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同継続
13. ハラスメント対応
①「ハラスメント防止ガイドライン(案)」「ハラスメント事案の対応要綱(案)」を作成、公開
②リスペクトトレーニング/ハラスメント防止講習を実施
③個別事案に対する対応を継続
14. その他
①令和5年度文化庁新進芸術家海外研修制度(長期研修)の応募受付 → 応募者なし
15. 特記
①2月26日、特別評議員総会において、2023年3月1日から1年間の理事7名を選任。
理事:瀬戸山美咲、土田英生、平田オリザ、鹿目由紀、桑原裕子、高羽彩、古川健
②2月26日、特別評議員総会で選任された理事による理事会において、2023年3月1日から1年間の代表理事(会長)と副会長を選定。
代表理事(会長):瀬戸山美咲
副会長:土田英生、平田オリザ
※評議員選挙が実施されない年なので、特段の事情がない限り、理事、会長、副会長は再選される。

以上